

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表：2022 年 3 月 23 日

事業所名 社会福祉法人 戸田藤福祉会 あすなろ学園 保護者等数(児童数) 32 名 回収数 28 名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	0	0	0	・園庭やプレイルームが広く子どもがのびのび遊んでいる。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	17	5	5	1	・職員の数は足りてないように感じる。 ・職員の数が少ないという声を聞きます。 ・人手が足りてない感じがある。 ・常に人手不足を感じる。	・児童3人に対して、職員1人の体制がとれるよう計画的な人員配置をしてきています。但し、産休・育児休暇・病休など数名重なる場合もあり、代替のため非常勤募集をかけてますが、応募者がいないこともあり随時補充ができていない現状があります。そのため、児童の支援に支障がでないよう、地域支援課含め指導室全体でサポート体制に努力しています。 ・上記のような職員の事情について、保護者に適切な情報提供に努力すると共に、支援の充実に向け、非常勤の専門職(ST・心理士職など)の計画的採用を検討してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	19	9	0	0	・相談しても対応を考えますと言われ、何も対応してくれない。	・相談があった場合は丁寧に対応していきます。また、今すぐの対応が難しい場合はその理由や今後の方針についてお伝えしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	2	0	0	・丁寧に掃除してあり、いつもきれいである。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	26	1	0	1	・子どもに寄り添った支援計画が立てられていると思う。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	1	0	1		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26	1	0	1		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> どのようなプログラムが行われているのか、分からないのでスケジュール表として保護者に提示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスたより等を活用しながら、活動内容を具体的に伝える努力をしていきます。
	9 児等発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	8	13	4	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止のため、多くの制約がある中、実現が難しかったように思います。 交流の機会があると嬉しい。 コロナ禍だから出来ないと思い「どちらともいえない」にしました。 今の時期は難しい。 コロナ禍なのでしかたないと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 例年は、近隣の保育園との交流がありますが、新型コロナウイルス感染症のため今年度も未実施です。今後も、感染状況を見ながら、交流先保育園と相談しながら検討していきます。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	2				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	27	0	0	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングⅣ等）が行われているか	11	7	5	5	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症講座など、それぞれの障害に合わせた会を開いてほしい。他の園ではやっていると聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 退園児保護者を講師とする父母教室は毎年開催し就学や家庭養育上の参考となるよう企画しています。しかし、通園児で増加している自閉症含む発達障害向けのペアレントプログラムは、実施していません。今後、クラス児童に合わせたミニ講座のような形で、自閉症含む発達障害の特性や養育上の工夫等について職員と保護者が共に学ぶペアプロ的講座を検討していきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 相談しやすい環境だと思う。 	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	1	0	0		
保護者への	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	2	3	0	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍ということもあり、難しいと思う。 	
	16 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	6	1	6		

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
説明等 (続き)	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1	0	0	・電話や連絡帳で園での様子を教えてほしい。	・児童の安全掌握が最優先のため連絡帳への記載は難しいです。子どもの様子が知りたい、気になることがあれば遠慮なく見学や電話連絡などしていただきたいです。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて、子どもや保護者に対して発信しているか	27	1	0	0		
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	27	0	1	1		
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26	2	0	0		
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	0	0	0		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	28	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちがたくさん関わってくれるので、子供もなついている。 ・のびのびと楽しく過ごしており、毎日通園を楽しみにしています。 ・大変満足しています。 ・最初は母子分離が難しかった子どもも今では毎日楽しく通っています。 ・入所時に比べ笑顔が増えたと思う。 	
	23 事業所の支援に満足しているか	23	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個別療育やSTなどの指導を取り入れてほしい。 ・大変丁寧に対応していただいています。 ・いつもありがとうございます。 ・大変満足しています。 ・先生方にとっても感謝しています。とても満足しています。 ・概ね満足しているが、不満はある。 	・現在、クラス集団及びグループ別などの形態で支援しますが、より個別的环境で、丁寧な支援していく必要な児童も多くなっているため、個別のアプローチも、検討していきます。特に、親子通園時など保護者支援も含めて試行していきます。

この「保護者等から事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価 アンケート結果 職員15名分

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	4	・数が少ない部屋を時間を分けながら利用できている。毎日通園している児童の他にも、地域支援業務等(発達相談、カンガルー通園、その他相談など)でも補助室の利用があるため、調整しながら行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	11	・職員配置の基準は満たしているものの、クラス担任が不在となる際は、臨時職員や地域支援課職員がフォローに入る等出来る限りの調整を行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	5	・床がコンクリートのため転倒時は危険を感じているが、遊具設定時にはマットを多めに敷き対応している。 ・全体的に段差の少ない室内構造にしたり、肢体不自由児クラスの教室の床はクッション性のある素材にしている。 ・部分的に手すりはあるものの、手すりの箇所や、トイレの構造など建物全体のバリアフリーについては今後の課題である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	・感染予防のこともあり、児童降園後はこまめに消毒清掃を行っている。全面的な消毒清掃は年2回行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	12	3	・クラス間だけでなく、指導室全体の会議等を通じて連携を図っている。また、年度末には、指導室全体の支援を総合的に振り返る機会を設け、次年度の支援内容について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	0	・連絡帳や親子通園等を通じて保護者の要望願い等を聞く機会がある。そういった場合は、職員全体で共有し、出来る限り保護者の要望に寄り添った対応を心掛けている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	0	・公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	4	・埼玉県の指導監査、戸田市の法人監査及びヒアリングを受け施設の運営、法人運営の改善に取り組んでいる。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	3	・支援の質的向上のため、療育の専門性を高めることは今後も課題である。外部研修はリモートで参加するなどしている。また、内部研修の充実を図る努力もしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	1	・日常の児童に様子だけでなく、運動発達ケース会、精神発達ケース会、支援会議等でアセスメントを行っている。また、それを基に支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	3	・遠城式発達検査、津守式発達検査等を使用し発達検査を年2回実施している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	・生活習慣、運動、遊びや社会性、親子遊び等学園なりの視点で支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	・支援計画を基にしながら、日々の療育を実施している。また、中間評価で振り返りも行いながら児童個々の成長に合わせた支援を心掛けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	1	・日常の振り返りと共に翌日の活動プログラムを日々話し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	2	・意識しないと固定化しやすい。そのため、上司や地域支援職員スタッフ、OT、小児神経科 Dr などクラス以外の職員の意見を参考にし、児童の発達や興味に沿ったプログラム展開が出来るよう努力している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	14	1	・子どもの発達状況や行動特性など考慮しながら、個別に丁寧に関わったり、グループ活動、集団活動を取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	0	・指導室職員間で朝の打ち合わせを行うとともに、各クラス日課の確認等を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14	1	・指導室職員間で指導後に打ち合わせを行っている。その際は、全体での確認事項、共有すべき事項など伝えあっている。また、クラス間でも日々振り返りを行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	0	・月間指導経過記録に、児童の状況を日々記録している。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	15	0	・支援会議で中間評価を行っている。見直しが必要となった場合は、保護者にも説明をしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15	0	・基本的に、クラスの担当職員、児童発達支援管理責任者など子どもや家族の全体像を把握している職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15	0	・母子保健とは相談時も含め、日常的に連携している。また、必要に応じて、相談事業所や子ども家庭課等と連携会議を実施している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	1	・学園とかかりつけ医や訓練先と直接繋がる機会が少ない。その為必要に応じて、保護者から丁寧な聞き取りを行うようにしている。また、必要に応じて、病院での訓練の様子を見学するなどリハビリスタッフ(OT・PT)と連携をとっている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	1	・基本的には保護者から丁寧に聞き取りを行っている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	1	・必要に応じて情報共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	0	・就学先に関しては保護者の同意のもと移行支援前に情報共有をしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	4	・新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は実施していない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	9	・例年は実施しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症対策予防のため行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	12	3	・施設長や課長が参加している。また、戸田市蕨市の公立園、私立園の園長会などにも必要に応じて参加している。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15	0	・毎日ではないが、児童送迎時や親子通園日に子どもの状況について話している。今年度は感染対策のため親子通園がない期間も多く、保護者によっては難しいこともあった。その際は、電話連絡したり、面接の場を設けている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	12	3	・児童の障害、発達状況や家族の養育スタイルは個々に異なるため、親子通園や面接などで丁寧に関わり方や支援の課題等について確認している。ペアレントトレーニング等の具体的な支援プログラムについては、職員も研修しながら今後検討していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15	0	・契約説明会で丁寧に説明している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	15	0	・ガイドラインに示されている支援内容と学園の療育の積み重ねである支援内容は一致する部分が多い。そのため、学園の「総合療育指導計画」として整理し、保護者へは「あすなろ学園しおり」に要約化し説明している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	0	・保護者からの相談があった場合は随時面接を実施している。また、内容によっては関係機関と連携も図っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	0	・感染症の関係で殆ど開催できていない。親子通園も中止期間が長引いたため、保護者同士のつながりを持つ場がなかなか持てなかったが、クラス懇談会は2回実施した。その中で、保護者同士で意見交換の場を持った。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0	・相談内容によっては対応する職員を整えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	・学園内たよりを月2回、学園広報誌を年2回、クラスたよりは随時発行。学園での取り組みや連絡事項、子どもの様子等伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	15	0	・「業務要綱、業務マニュアル」等で個人情報について留意事項を明確にしている。個人ファイルの持ち出し禁止、ファイル棚の施錠の徹底など行っている。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15	0	・言語でのコミュニケーションが難しい児童には視覚的な手掛かりや、表情やジェスチャーなどで本人に分かりやすく伝えている。また、保護者とも共通理解しながら行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	12	・感染予防の観点から、今年度も外部は招いていない。また、近隣住民には、園庭行事等で音響を使用する旨の理解を得るため、説明文書を配布している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	15	0	・それぞれのマニュアルを策定し、職員、保護者に周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15	0	・火災避難訓練毎月、、地震避難訓練年2回、洪水避難訓練年1回実施。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	15	0	・児童利用状況票に保護者から記載してもらっている。児童健康情報に全児童の情報をまとめ職員に配布し確認している。てんかん発作についても対処法を一覧にまとめ掲示している(教室、職員室、バス車内)。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	15	0	・医師の診断書、アレルギー除去確認表を保護者に提出してもらい、保護者、栄養士、担任と面接を行い情報共有している。また、全職員にも周知確認している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	0	・ヒヤリハット集に記載前に、全職員に事の経緯を説明している。また、記録は各クラス職員室にファイルしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	0	・年度初めに虐待防止の研修を指導室職員全員で行っている。また、関係機関、自治体が主催する要保護児童対策協議会の研修にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	15	0	・バス乗車児童で、立ち上がる、すり抜ける児童に対して抑制帯を使用している。その際は、事前に同意書の提出、使用する際は再度保護者に事情を確認したうえで行っている。短期間のため、支援計画には記載せず、月間に記載。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。